

第1章 計画策定の主旨

1 計画の目的

近年の子どもたちは、生活スタイルの多様化により学校以外の塾や習い事、その他ビデオゲームやインターネット等の時間が増え、生活の中で本に触れる機会が少なくなっています。また、核家族や共働きの家庭が増え、親子がゆっくりと本を読む機会も少なくなる傾向にあります。

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。また、学力と読書習慣は深く関係しており、読書が好きな子どもほど国語や算数の学力が高くなる傾向にあります。(文部科学省 平成28年度全国学力・学習状況調査より)

本町では、公民館などで開かれるおはなし会を介し、親と子、地域や人との絆を深め、充実した生活を送れるよう支援することを目的とした、第1期五城目町子ども読書活動推進計画を平成26年4月から平成31年3月までの期間で策定し、実践してまいりました。

この度の第2期計画は、これまでの取り組み状況を加味し、社会情勢を勘案しながら、読書の重要性を考え、その楽しさ、喜びをともに享受し、豊かな心を育てる支援をすることを目標に策定するものです。

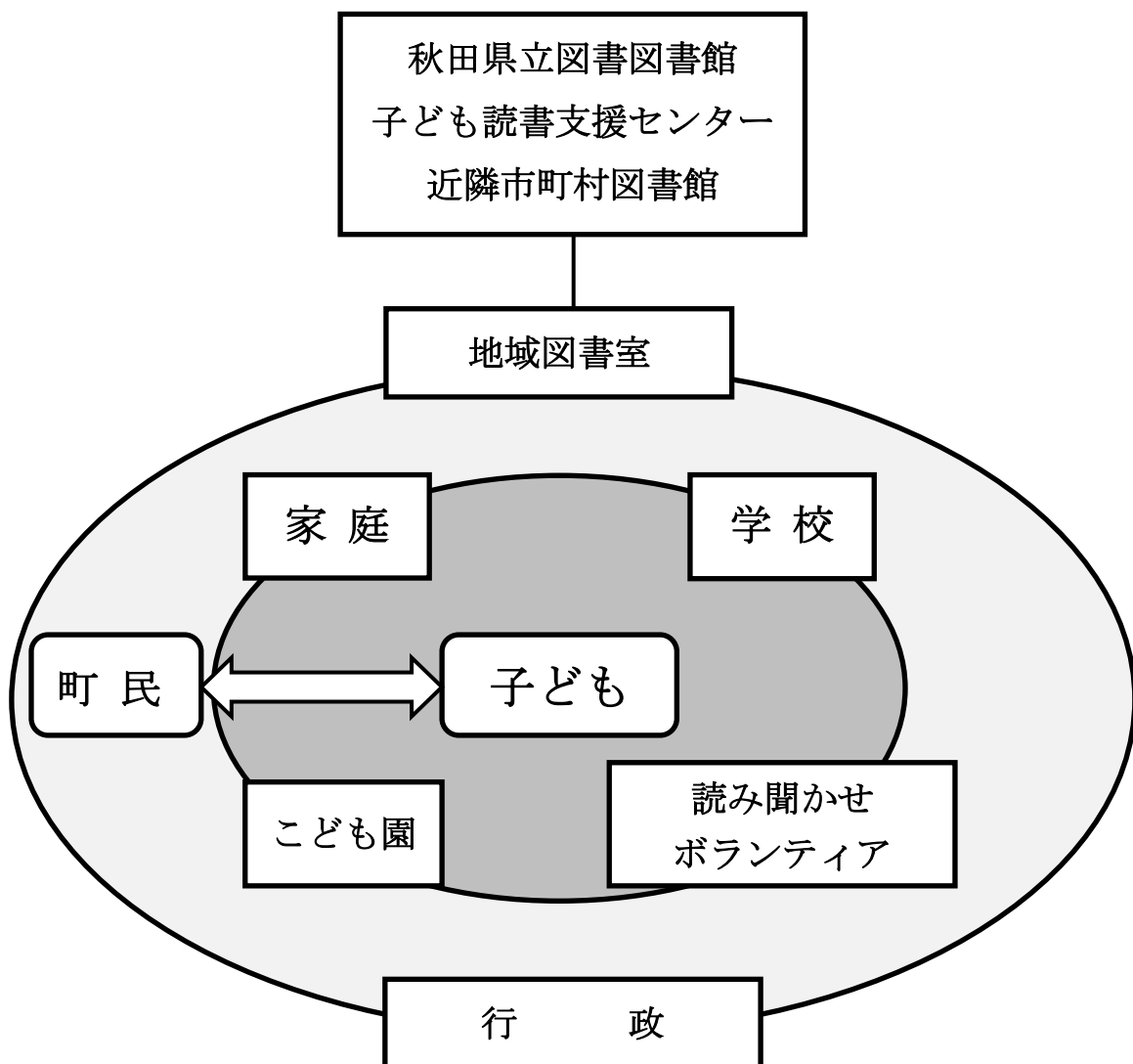
2 計画の対象・期間

計画は、おおむね18歳以下までの子どもを対象とします。(「子どもの読書活動の推進に関する法律」に準拠) 期間は平成31年4月からの5年間とし、必要に応じて計画の見直しをし、子どもたちの読書活動の充実と環境整備に努めます。

3 推進計画の全体像

子どもの読書への関心を高めるため、家庭・学校・こども園・読み聞かせボランティアが子どもたちへはたらきかけ、絵本や児童書に触れて親しむ機会を作ります。その活動を地域図書室と行政が支援し、より活発に読書に関する活動が増えるよう取り組みます。また、地域図書室を起点として読書活動を行うことにより、地域図書室を利用する町民も一体となって子どもたちと読書を楽しみ、相互に学び合う空間が生まれることを期待します。この将来像を実現するため、秋田県立図書館や子ども読書支援センター、近隣の市町村図書館と連携してまいります。

下記イメージ図のように、町全体で子どもの読書活動とそれに付随する学びや経験、広い分野への興味関心を育んでいくことが本計画の全体像です。



第2章 読書推進のための具体的方策

1 家庭・こども園における読書活動の推進

(1) 現状

五城目町では生活スタイルの多様化により、家庭での十分な読み聞かせの時間の確保が難しくなっています。その一方で、公民館などで行われる絵本の読み聞かせの会があり、親子で参加している方たちもいます。また、こども園では絵本に触れる機会が多くあります。家庭でも本に触れる機会はありますが、テレビやゲーム、メールや塾などの時間が長いほど、読書時間が短くなる傾向にあります。

(2) 目標

読書活動を行うことにより、親子・家族で共有する時間と話題が増え、言葉をより多く交わすきっかけとなります。これにより、お互いを深く理解できるようになるのではないかと考えます。また、絵本のお話の内容を通じて人の心の動きを知ったり考えたりする機会を持つのではないかと考えます。

絵本やお話に触れ、短くても親子の時間を持ち続ける習慣を増やすことで、深くゆとりある親子関係を築くことにつながります。家族とともに図書に触れることにより、豊かな感性や想像力を養い、より実りの多い生活を送れるように支援していきます。

(3) 具体的取組

- ・中央公民館を通して定期的に秋田県子ども読書支援センターから小学校低学年・幼・保育園児向けの図書を借用し、地域図書室に設置する。
- ・地域図書室では子どもと保護者に対し、話題の図書がすぐに分かるような展示を行う。
- ・図書室の充実を図るためのアンケートで寄せられた要望をもとに、図書の購入内容や展示の見直しを行う。
- ・町広報やHPを活用して、情報の提供を行う。

2 学校における読書活動の推進

(1) 現状

子どもたちの読書離れが進む現在、一番身近にあり、日常的に本に親しむ場となるのが学校図書室です。本町の、小学校1校、中学校1校にも、図書室または図書コーナーが設置されています。そこでは、各学校の図書担当の教職員や児童生徒による委員会、図書修理ボランティア、また、週に2度訪れる町の図書支援員が連携しながら整備、運営に取り組んでいます。

また、小学校、中学校の双方で、地域のボランティアの方々の力をお借りして、月に1度程度の読み聞かせを実施していただき、本に触れる機会を増やしています。

中学校では、広いスペースに図書コーナーを設け、生徒が気軽に本を手にとれる環境となっています。また、放課後の委員会活動の他にも、手書き貸し出し表を活用した貸し出し、週に2回の図書支援員による昼休みの貸し出し、図書コーナーから遠い1年部への出張図書コーナーの整備など、以前よりも本が身近になるような取り組みをしています。

平成30年度の県学習状況調査から、本町の小学校と秋田県の数値を比較してみると、小学校全体では全ての項目で全県の数値を上回っていることがわかります。特に、当町の小学5年生が読書に対し非常に積極的であることが読み取れます。しかし、全体の傾向としては、小学6年生になると、「読書が好き」と「月1回以上図書館利用」の数値に低下が見受けられます。(表1参照)

また、中学校では1年生の「読書が好き」「月1冊以上本を読む」は県に比べ下回っており、同町内の前学年時と比べても、大幅に下回っています。これに加え、2年生が前学年時よりも各項目上回っていることから、中学1年生時は環境の変化などにより読書から離れる傾向にあると推測できます。(表3、表4参照)

各学校では、朝や昼、学習の合間などに読書の時間を設け、子どもたちの読書活動が充実するよう支援しています。

(2) 目標

子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の整備を行うことで、読書活動に対する理解と関心の普及に努めます。そのために十分な蔵書の確保、豊かな知識を持った図書支援員の配置が必要となってきます。心身ともに成長著しい年齢であることを加味した上で、読書を通じ、道徳心や広い分野への興味を育むよう支援します。

(3) 具体的取組

- ・ 県立図書館・子ども読書支援センターからの相互貸借を利用し、授業等への活用のため、町の図書室を通して必要な図書資料の団体貸出を行う。
- ・ 図書支援員を配置する。
- ・ 子どもたちが必要とする図書の紹介をする。
- ・ 子どもたちが自身で本を選びやすいよう、視覚的にわかりやすい配架と表示を行う。
- ・ 地域ボランティアによる読み聞かせなど、定期的に図書へ向き合う時間を作る。
- ・ 読書目標を設定し、達成者へは景品を渡すなど読書意欲がわくような全校児童・生徒参加型の企画を実施する。

■平成30年度 県学習状況調査結果

【町内小学校（4～6年生）】

表1. 全県との比較および学年ごとの傾向

単位 (%)

質問	五小	全県	五小4年	全県4年	五小5年	全県5年	五小6年	全県6年
読書が好き	91.2	86.3	91.8	87.6	100.0	86.9	81.8	84.4
月1冊以上読む	99.3	96.3	98.1	97.2	99.9	96.0	100.0	96.0
月1回以上図書館利用	97.8	80.0	98.0	85.5	100.0	79.9	95.5	74.5

※項目「読書が好き」は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の回答のみの比較。

表2. 年度ごとの比較（1か月間の読書頻度）

単位 (%)

	H24五小	H25五小	H26五小	H27五小	H28五小	H29五小	H30五小
一冊も読まない	6.7	8.1	4.7	3.2	4.9	3.8	0.7
1～2冊以内	16.9	28.4	30.9	22.6	17.2	25.2	17.6
3～4冊	29.5	28.7	19.2	33.9	28.2	25.6	25.2
5～10冊	32.1	20.9	23.1	23.2	29.8	20.9	27.8
11冊以上	14.8	13.9	22.1	17.1	19.9	24.5	28.7

【町内中学校（1～2年生）】

表3. 全県および前学年時との比較（1年生）

単位 (%)

	五中	県	五中と県の差	H29（6年生時）
読書は好きだ	68.1	81.1	-13.0	86.2
月1冊以上読む	89.3	92.9	-3.6	96.2
月1回以上図書館利用	55.4	52.9	2.5	94.6

※項目「読書が好き」は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の回答のみの比較。

表4. 全県および前学年時との比較（2年生）

単位 (%)

	五中	県	五中と県の差	H29（1年生時）
読書は好きだ	79.7	79.5	0.2	79.6
月1冊以上読む	98.2	90.3	7.9	96.3
月1回以上図書館利用	70.4	43.9	26.5	63.0

※項目「読書が好き」は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の回答のみの比較。

平成30年度 秋田県学習状況調査より

3 地域図書室における読書活動の推進

(1) 現状

公民館では、利用する子どもや保護者がゆっくりと本を読めるように、平成25年7月に絵本コーナーの改修を行い、以前にも増して利用しやすい環境の整備に努めています。また、子どもへの読書推進活動として、地域のボランティアの方々によるおはなし会を定期的

に開催しています。

以前よりも蔵書の数も増え、人の往来がある場所におすすめコーナーを設けるなどしています。しかし、専門的知識を持つ職員がいないため、十分な環境作りができていないのも現状です。

また、図書室のスペースの関係などにより、配架する分野や冊数を絞らなくてはなりません。貸出利用の多い分野の図書やリクエスト図書を入れるなど、利用者の傾向分析をもとに蔵書を増やしています。数年の内に図書室が新設されるため、これを機に当図書室ならではの特色や強みを持てるよう試行錯誤し、多くの来室者が興味を持って本を手取るように、展示方法や企画においても工夫を凝らしていきたいと考えています。



中央公民館図書室 絵本コーナー

(2) 目標

子どもたちが地域の中でより多くの本に触れ、その中から様々なことを学べるよう整備を進めます。本の配架や展示、室内装飾にも力を入れ、子どもたちだけではなく利用する全ての人々が年代や立場を超えて交流し、明るく充実した読書活動を送れるよう支援します。

(3) 具体的取組

- ・読み聞かせボランティアによるおはなし会を開催する。
- ・季節・行事に合わせてテーマを設定し、装飾を施した特設展示コーナーを設置する。
- ・県立図書館との連携（相互貸借）を行う。
- ・秋田県子ども読書支援センターの貸出セット資料の利用による、絵本コーナーの充実や新刊図書などの展示の工夫をし、手に取ってもらえるようにする。
- ・新しく入った本を町広報や町のホームページで知らせる。
- ・幼い子どもから年配の方まで、幅広い世代に受け入れられるような選書を行う。
- ・公民館ロビーに書架を設置し、気軽に読書できるスペースを設けている他、入り口を入ってすぐの場所にも「おすすめ図書コーナー」を設置し、より多くの公民館利用者へ本をアピールする。
- ・図書関連行事のポスター掲示やリーフレットの配布を行う。

(4) 将来展望

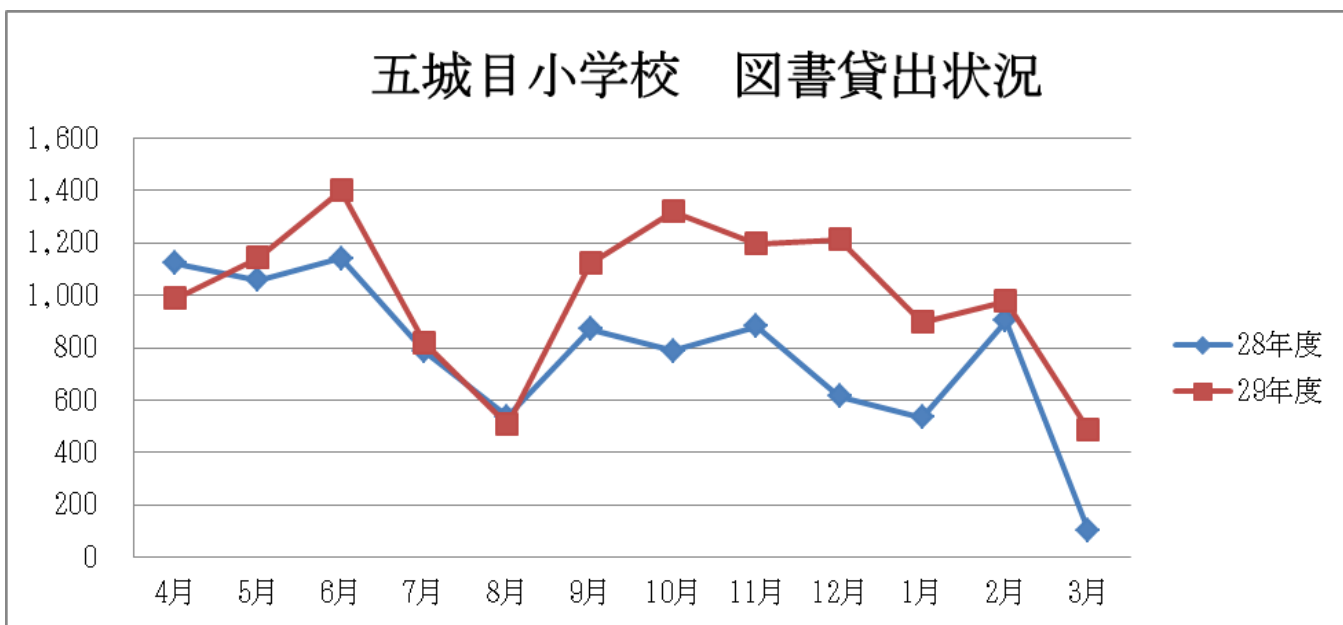
- ・地域図書室を核とし、読み聞かせボランティアなどの読書活動支援団体を通じて子どもたちの読書に対する興味・関心を高める。
- ・子どもや保護者が気軽に参加できる読書イベントを町民主体で企画・実行可能な環境づくりに努める。また、児童・生徒が企画した読書イベントの実施をする。
- ・子ども自ら本を選ぶなど、読書そのものに対し積極性や楽しみを見出せる絵本・児童書の配置・展示を行う。
- ・子どもと町民が自然に集い、垣根を越えて学び合うことができるアットホームな地域図書室の実現を目指す。
- ・図書や図書施設に対して専門的知識を有した職員の配置を進めていく。

■平成28・29年度 小学校図書室の利用調査結果（月別貸出冊数）

【五城目小学校 図書室】

表. 平成28・29年度 五城目小学校図書貸出冊数（月別） 単位（冊）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	1,122	1,057	1,141	786	536	870	789	882	615	534	903	101	9,336
29年度	988	1,145	1,400	818	507	1,123	1,320	1,196	1,212	899	979	486	12,073



《平成29年度 登録図書蔵数》

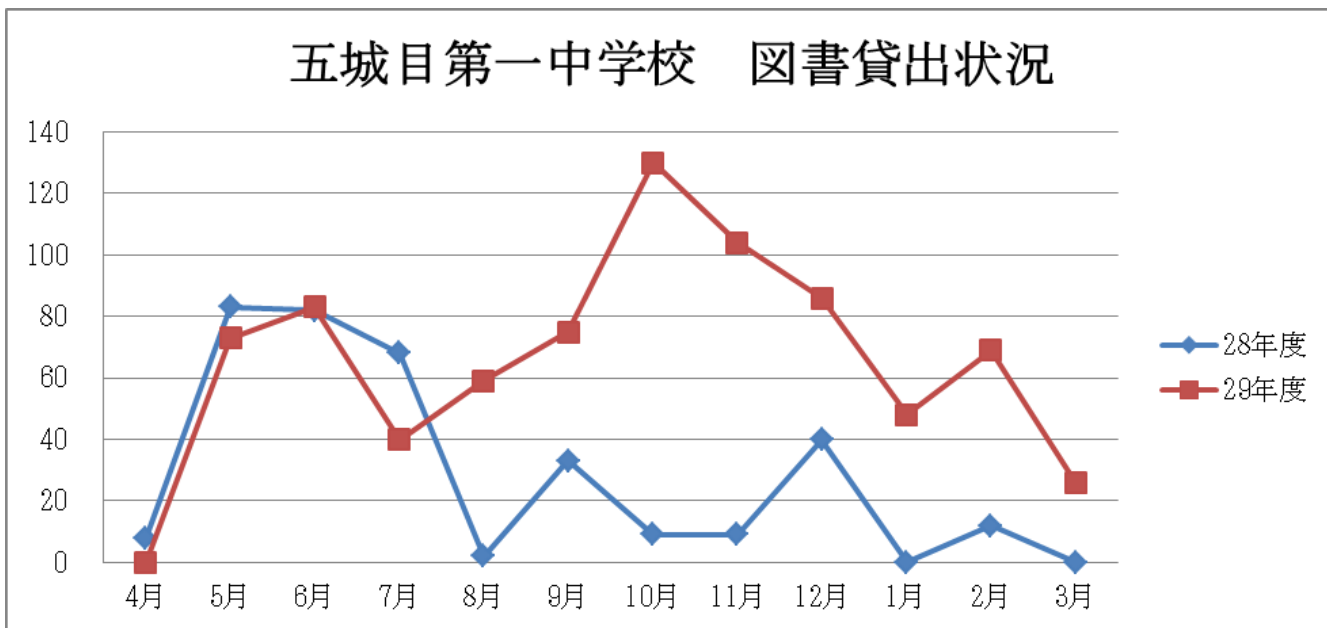
- ・購入図書 …………… 214冊
- ・寄贈図書 …………… 32冊
- ・蔵書総数 …… 9,770冊

■平成28・29年度 中学校図書コーナーの利用調査結果（月別貸出冊数）

【五城目第一中学校 図書コーナー】

表. 平成28・29年度 五城目第一中学校図書貸出冊数（月別） 単位（冊）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	8	83	82	68	2	33	9	9	40	0	12	0	346
29年度	0	73	83	40	59	75	130	104	86	48	69	26	793



《月別の貸し出し冊数の変動について》

- ・平成28年度は冬に入ってから図書用のパソコンが故障したため使用できませんでした。手書きで貸出していたため、正確な統計はありません。なお、パソコンが壊れた正確な時期は不明です。
- ・平成29年度は委員会の発足が5月になったため、4月の貸出を行っていません。

《平成29年度 登録図書蔵数》

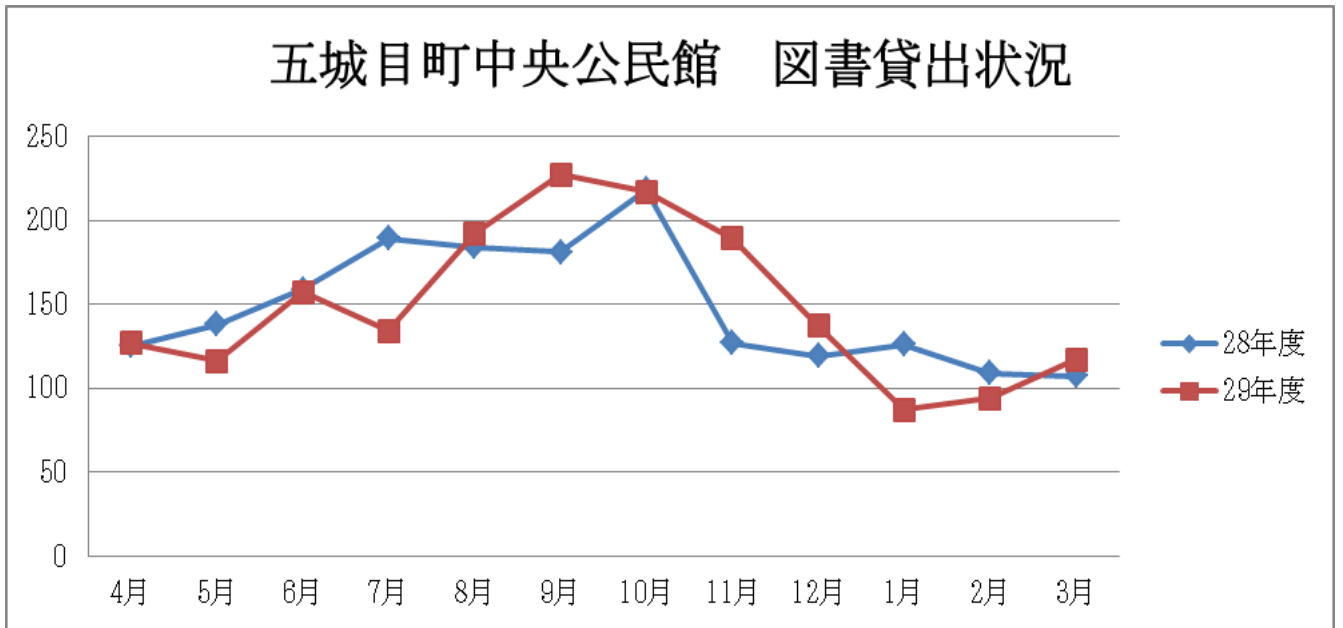
- ・購入図書 …………… 185冊
- ・寄贈図書 …………… 50冊
- ・蔵書総数 …… 6,287冊

■平成28・29年度 公民館図書室の利用調査結果（月別貸出冊数）

【五城目町中央公民館 図書室】

表. 平成28・29年度 五城目町中央公民館図書貸出冊数（月別） 単位（冊）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	125	138	159	189	184	181	218	127	119	126	109	107	1,782
29年度	127	116	157	134	192	227	217	189	137	87	94	117	1,794



《平成29年度 登録図書蔵数》

- ・購入図書 …………… 190冊
- ・寄贈図書 …………… 46冊
- ・蔵書総数 ……… 7,405冊